

しがま市議会をより

平成26年 議会報告会 第3号

- 平成26年定例会の報告 P1
- 東日本大震災復旧・復興調査特別委員会の報告、震災復興事業報告 P2
- 質疑応答 P3
- 参加者からのアンケート結果 P4

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 TEL 022(364)1214 Feb.2015
 ホームページアドレス <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/shise/shiogamashi/index.html>



参加いただいた市民の皆様

第3回塩竈市議会報告会・エस्प 塩竈、塩釜ガス体育館合計73人参加

塩竈市議会は11月22日（土）、29日（土）の両日、第3回市議会報告会を開催しました。

今回の議会報告会では「平成26年定例会」「東日本大震災復旧・復興調査特別委員会」及び「復興状況」について、それぞれ報告を行いました。

た。

両日合計で73人の方々が参加しました。班長から挨拶があり、担当議員が定例会の報告を行い、東日本大震災復旧・復興調査特別委員会の正副委員長が特別委員会の報告をした後、担当議員が復興状況の報告を行いました。その後、質疑応答を行いました。

平成26年定例会の報告

2月定例会について

平成25年度の補正予算と平成26年度の施政方針及び予算が提案されました。

新年度予算の主なる事業は震災復興関連予算157億円で災害公営住宅費23億3千万円の他、藤倉・北浜地区区画整理事業、浦戸防災関連事業です。また長期総合計画に基づく事業として、障害者総合支援事業費7億円、割増商品券4500万円、子ども医療費助成事業費1億3444万円等で、市民の暮らし・福祉の充実の視点で質疑が行われ、原案のとおり可決成立しました。

施政方針に対する質問は、鎌田礼二、高橋卓也、西村勝男、志賀勝利、浅野敏江、志子田吉晃、伊勢由典の

各議員が行いました。

6月定例会について

補正予算など21件の議案が提案されました。主な事業は、災害公営住宅用地購入費5億8000万円、復興まちづくり総合支援事業費2000万円、避難道路整備事業費3000万円、浦戸ステイ・ステーション整備費3億2000万円等です。各常任委員会で質疑が行われ、原案のとおり可決されました。

一般質問は、菊地進、小野幸男、西村勝男、浅野敏江、小野絹子、田中徳寿、志賀勝利、阿部かほるの各議員が行いました。

9月定例会について

補正予算など18件の議案が提案されました。特に復興関連で、浦戸災害公営住宅3億5350万円、新魚市場荷さばき所6億8700万円。長期総合計画に基づくものとしてワクチン定期予防接種7000万円等が審議・可決されました。また平成25年度一般会計・特別会計・企業会計に係る決算認定（3件）は、特別委員会を開き、質疑・採決の結果認定されました。

一般会計で、歳入505億9100万円、歳出413億2775万円、92億円の繰越金を差し引き14億円の

の黒字決算となったものです。

一般質問は、志子田吉晃、伊勢由典、西村勝男、小野幸男、香取嗣雄、志賀勝利、曾我ミヨの各議員が行いました。

【意見書及び決議について】

「手話言語法制定を求める意見書」及び「東松島宮戸・寒風沢間架橋（命の橋）実現に向けての決議」が提出され、採決の結果、可決されました。

議長の辞職勧告動議について

6月議会の冒頭で、佐藤英治議長の辞職勧告動議が提出され、採決の結果可否同数となり、曾我副議長の裁決により可決となりました。

最終日、曾我ミヨ副議長より辞職願いが提出されたため、副議長選挙の結果、鎌田礼二議員が当選し副議長に就任しました。

9月議会の初日、佐藤英治議長は辞職勧告動議が提出され、採決の結果、賛成多数で可決されました。

東日本大震災復旧・復興調査特別委員会の報告

平成23年3月27日、瓦れき処理に関する災害復旧連絡協議会内部の業務配分の不平等に関する報道が大きく取り上げられ、昨年5月に開催された議会報告会で、多くの市民から真相究明の声をいただきました。5月13日に志賀勝利委員長、鎌田礼二副委員長、全議員による調査特別委員会を設置し、これまで15回の開催、

参考人招致も4回実施してきました。

①塩竈市の管理責任について

塩竈市は連絡協議会に対して総額58億円の事業を委託し、本土の危険家屋解体、約27億円は連絡協議会が窓口となり、仕事を振り分け、解体の契約は解体事業者と市が直接契約を結んでいます。浦戸と浦戸地区の危険家屋解体、総額31億円は、連絡協議会が元請となり、それぞれ下請企業として瓦れきの収集、分別作業を行っています。しかし、市当局はこれらの日報の提出を連絡協議会に対して求めることなく、請求された金額を十分にチェックすることなく、支払いをしていることが明らかになりました。市当局はお互いの信頼関係に基づいて、支払いを履行したと

答弁をしています。

②有価物について

震災で解体された家屋は1200件を超え、ほとんどの家屋にはアルミサッシが使用されており、電線も大量に出るにもかかわらず、有価物の報告には一切出てきません。

③島民給与について

一般的には、連絡協議会から下請した両社が島民を雇い、賃金を支払う形が通例であるが、今回は連絡協議会が島民を雇い、約8900万円賃金を支払いました。浦戸の瓦れき運搬、分別処理に従事した延べ人数1万3000人、その半数以上の6900人を連絡協議会が雇った作業員が占めています。

④浦戸の危険家屋解体について

浦戸の危険家屋解体は、当初議会に提出された資料では102件でありましたが、このうち20件の詳細な資料提示を求めたところ、1軒の家に数軒分を寄せ集めたものであることが判明しました。危険家屋解体件数は、当初の102件から72件増の174件となりました。寄せ集めの最大の理由、書類がそろわないの説明に対しては、どんな書類が不足していたのか、説明を求めても明確な答えが返ってきていません。

震災復興事業報告

塩竈市議会では発災後、東日本大震災復興対策調査特別委員会を設置し、国及び知事に復旧・復興等の要望書を提出しました。現在、塩竈市震災復興計画に基づき、「住み慣れた土地で安心した生活をいつまでも」を基本理念として、10年間事業が進められています。復興計画は港町周辺地区（道路のかさ上げ・ポンプ場施設）・北浜周辺地区（道路と宅地のかさ上げと土地区画整理事業）・本塩釜駅前周辺地区（海岸通り1・2番地区の再開発に向けて都市計画の決定）・藤倉周辺地区（土地区画整理と道路拡幅整備）・新浜地区周辺（水産加工業施設整備支援事業）・浦戸地区周辺（漁港の浮き桟橋や道路）の各地区等地区の特性に応じて進められています。災害公営住宅は、本土375戸と浦戸地区45戸の420戸が27年度までに完成の予定です。錦町地区は、現在40戸が建設中です。また、清水沢地区は170戸、北浜地区・錦町東地区など134戸の計画で住宅建設が進められています。今後市民の皆様への負託に応え、塩竈の復興及び再生に取り組みます。

報告後の主な質疑応答

Q 曾我副議長の辞任について

通常は年度の中で辞任はありえない、その理由は。

A 原因は、議員に対する政治倫理審査会を開いてほしいと、要請が出された議会のルールに沿った提出。当然、審査会が開かれると思っていたが、開かれなかった。本来は議長を支えるのが副議長の役割だが、亀裂が入り、続けることは私自身議会を無視した運営の立場に立つことになるので、長く続けるべきでないと思い辞職した。

Q 二度の議長辞職勧告動議について

A 政治倫理審査会を開かなかつたこと、消防事務組合と環境事務組合の一本化で、議員選出の整理ができないこと、東日本大震災復旧・復興調査特別委員会の進め方に疑義があったこと、の3点の理由により議会として議長辞職勧告動議を賛成多数で可決した。

Q 復興の問題について

テレビ、新聞で騒がれているが、

一般市民を無視した形で全然わからないまま新聞に載っていたが、報告会で全議員が調査すると発言していたのではないか。

また、石巻では職人が整理して全員で写真を撮り、名簿を提出し、仕事が終わったら写真を撮っているが本市ではどうか。

A 当初は作業配分の不平等という形で新聞紙上で報道された。資料を要求して調べたが、不平等については議会としては終わってしまったことで、どうしようもない。しかし実際には金銭的なものもすべて明らかになっている。

また、チェックなしに災害復旧連絡協議会からの請求書等にお金を支払っている。協議会と塩竈市との信頼関係に基づいて支払いをしたので間違いはない、という市長の答弁が何回もなされた。

浦戸の家屋解体については当初102軒の解体で審議したが、調査していくと数が174件の解体数が示された。4〜5軒くらいの寄せ集めで解体処理との説明がなされて調査中である。

有価物に関しては、1200軒も解体したのにアルミが一切出てこない、多くの不明点があり、し

っかりと真相を究明出来るように頑張っていく。

Q 瓦礫処理・危険家屋解体に係る有価物について

*不透明な処理がされているようだが、なぜ議員は調べようとしな

A 我々が調べ始めたときからすべてそういった有価物はなかった。存在の証明はできない状況にある。

Q 百条委員会設置について

調査が進まないのは問題があるのでは。石巻では百条委員会が設置し解決しているが、告発するとか百条委員会で法的な処理で徹底して真相究明を考えてはどうか。

*本市議会でなぜ、百条委員会を設置しないのか不思議でならない。
*委員会の中にあるような問題がある、アルミ、銅、鉄が混ざっている、訴訟も2つある。百条委員会は、立ち上げなければだめ。

A 市民の皆様にはしっかりと真相を究明してお伝えすることが議員の役目である。百条委員会もできればやりたいが、議員各位の賛意がなければできない。

*本当に百条委員会にするか、み

んなの声を聞いてからどうするか検討すべきである。

*議会報告会で市民の方から百条委員会等の声も出ているので資料を出していただきたいと議員の役割として行政の監視を行っている。今後を見守っていただきたい。

【その他の質問】

- ・辞職勧告が2回可決されても辞めない理由について
- ・市議会だよりについて
- ・本市の人口減少について
- ・議員定数について
- ・防潮堤について
- ・調査特別委員会で質問しない会派について

議会報告会の様子



参加者からのアンケート結果

【内容について】

- ・ 良くわかった 12人 (19・4%)
- ・ 普通 24人 (38・7%)
- ・ 分かりにくい 11人 (17・7%)
- ・ 回答なし 15人 (24・2%)

【時間配分について】

- ・ 適切だった 30人 (48・4%)
- ・ 長かった 5人 (8・1%)
- ・ 短かった 10人 (16・1%)
- ・ 回答なし 17人 (27・4%)

【参加者の主なご意見】

- ・ 簡単に分かりやすい説明を。
- ・ 議会報告会のあり方に疑問。対立の場ですか。
- ・ 疑問の核心があいまいである。
- ・ 市民は紙上の範囲の情報しかない。
- ・ 本報告会は市政の是非良否について討論されたい。
- ・ 方針を明確にし、内部思想を統合し律し合うことが肝要です。
- ・ 百条委員会の設置を希望。
- ・ 来年は若者等の参加の拡大を。
- ・ 議会と若者のコミュニケーションづくりをお願いします。
- ・ 市政の監視役としてまとめ役をしっかりしてほしい。
- ・ 議会報告会とてもよかった。

議会報告会担当議員 (A班)



- ・ 議会一体となって、市民のために努力してください。
- ・ シビアな問題の質疑応答があり徐々に解明されるかと思う。
- ・ 議会、議員相互の理解が不十分。
- ・ まとまっていないので、市民のためにならない。
- ・ もっと市内の活性化に努めてほしい。
- ・ 今後、婚活をテーマにした意見があれば要望します。
- ・ 議長辞職勧告が可決されても、法的に何ら有効でないなら、意味がない。
- ・ 市民に責任ある議員活動をしてください。
- ・ 議会の対応の、より詳しい説明を。

議会報告会担当議員 (B班)



議会報告会担当議員

A班 (エスポ会場) 担当

- 代表者 志子田吉晃
- 司会 阿部かほる
- 報告者 小野幸男・志賀勝利・高橋卓也
- 記録者 佐藤英治
- 答弁者 全員
- 受付 伊藤栄一・小野絹子
- 場内整理 香取嗣雄

B班 (塩釜ガス体育館会場) 担当

- 代表者 菊地進
- 司会 田中徳寿
- 報告者 伊勢由典・西村勝男・鎌田礼二
- 記録者 曾我ミヨ・浅野敏江
- 答弁者 全員
- 受付 全員 (チーフ：嶺岸淳一)
- 場内整理 全員 (チーフ：嶺岸淳一)

編集後記

第3回市議会報告会への皆様のご参加に心より感謝申し上げます。

今回の報告会は、初めて2会場、2班で行われました。各会場とも、市民の皆様から積極的な御意見を頂きました。

アンケートにお寄せ頂いた御意見は、次回に生かし、更なる議会改革と議会運営に努めてまいります。

議会報編集委員会

委員長 阿部かほる

市議会報告会

A班代表者 志子田吉晃

B班代表者 菊地 進